



## 平成27年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ステップ

コード番号 9795 URL <http://www.stepnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 龍井 郷二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 新井 規彰

TEL 0466-20-8000

四半期報告書提出予定日 平成27年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年9月期第1四半期の業績(平成26年10月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第1四半期	2,381	3.5	666	0.7	678	1.2	429	4.4
26年9月期第1四半期	2,300	4.3	662	13.1	670	13.8	411	13.1

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
27年9月期第1四半期	25.75		—	
26年9月期第1四半期	24.67		—	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
27年9月期第1四半期	17,586		14,561		82.8	873.58		
26年9月期	17,314		14,330		82.8	859.75		

(参考)自己資本 27年9月期第1四半期 14,561百万円 26年9月期 14,330百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	12.00	—	12.00	24.00
27年9月期	—				
27年9月期(予想)		12.00	—	13.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,702	4.0	1,198	4.5	1,212	4.4	759	4.7	45.54
通期	9,471	4.0	2,253	2.5	2,280	2.7	1,427	5.3	85.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期1Q	16,670,000 株	26年9月期	16,670,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年9月期1Q	1,633 株	26年9月期	1,633 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期1Q	16,668,367 株	26年9月期1Q	16,668,367 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
5. 補足情報 .....	7
(1) 生産実績及び受注実績 .....	7
(2) 販売実績 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(10月～12月)は、学習塾の運営上では2学期の後半と冬期講習の時期にあたりますが、この間の当社の生徒数は当初の想定範囲内での順調な推移をたどっています。小中学生部門、高校生部門を合わせた塾生総数は、期中平均で前年同四半期比3.5%増です。25年2月に8年ぶりの抜本的改変となった公立高校の新入試制度は、この2年間で、その複雑性と難度アップという特徴が広く知られるところとなってきています。その影響もあってか、夏以降の入会に関する生徒・保護者の動向は、26年4月の消費税増税時の「入会先送り現象」とも言うべき状況から徐々に脱しつつあります。

このように、第1四半期においては、生徒人数の推移は予想通りの展開となっておりますが、今後については断定的な判断は避けたいと思っています。第2四半期中の2月には、神奈川県公立高校、そして首都圏の私立・国立高校の合格発表が一斉に行われます。これらの合格発表でのステップの塾生の合格状況は、今春の募集に大きな影響をもたらします。目下、昨春の可否結果を分析した詳細なデータを活かして、過去最高の実績を達成した昨春以上の合格実績を実現すべく全力をあげている最中です。

当社が小中学生部門と同時に注力している高校生部門は、少子化と大学定員の拡充を背景として、大きな環境変化が進行中です。「大学全入時代」という表現が聞かれますが、当社は、部活動や学校行事を含む多面的な高校生活を充実させながら、同時に志望大学への現役合格も実現させるという公立高校生の切実なニーズに正面から応えるべく、ライブ授業をメインに、授業内容の充実と柔軟なシステム作りに努めてまいりました。今春の大学進学実績において、その成果の一端を示すことができるよう全力を傾けているところです。

基本的な流れとしての少子化は神奈川県でも継続して進行しており、学習塾間の競合関係が厳しくなることはあっても緩やかになることは予想しがたい状況です。

このような状況の中で、教務力の強化を主軸に、指導内容と教務システムをさらに磨き上げていく所存です。

当事業年度中の新規開校は、小中学生部門では当社が注力している横浜北部地区、横浜東部地区内のたまプラーザ、江田、大倉山東の計3スクールを予定しています。また、高校生部門は戸塚、センター南の2校の開校を決定しています。

当第1四半期累計期間の売上高は2,381百万円(前年同四半期比3.5%増)、営業利益は666百万円(前年同四半期比0.7%増)、経常利益は678百万円(前年同四半期比1.2%増)、四半期純利益は429百万円(前年同四半期比4.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末比272百万円増の17,586百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加等により前事業年度末比276百万円増の3,099百万円となりました。

固定資産は、減価償却実施による減少等により前事業年度末比4百万円減の14,486百万円となりました。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末比41百万円増の3,025百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等の減少等はありませんでしたが、賞与引当金の増加等により、前事業年度末比167百万円増の1,918百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の返済等により前事業年度末比126百万円減の1,107百万円となりました。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、配当金の支払がありました。四半期純利益の計上等により、前事業年度末比230百万円増の14,561百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前事業年度末と変わらず82.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の業績につきましては、平成26年10月31日付け「平成26年9月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載の予想と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,562,525	2,731,540
売掛金	49,466	82,825
たな卸資産	27,528	28,591
その他	184,595	258,751
貸倒引当金	△1,060	△1,855
流動資産合計	2,823,055	3,099,854
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,140,530	6,106,525
土地	7,529,385	7,529,385
その他(純額)	187,225	204,831
有形固定資産合計	13,857,141	13,840,741
無形固定資産		
	32,729	30,981
投資その他の資産		
敷金及び保証金	414,118	421,830
その他	187,350	193,061
投資その他の資産合計	601,468	614,892
固定資産合計	14,491,340	14,486,615
資産合計	17,314,395	17,586,470
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	631,732	583,904
リース債務	13,929	14,126
未払金	64,015	89,938
未払法人税等	475,884	313,517
賞与引当金	67,458	240,088
その他	497,298	676,489
流動負債合計	1,750,319	1,918,064
固定負債		
長期借入金	909,575	781,346
リース債務	25,893	27,000
役員退職慰労引当金	140,700	140,700
資産除去債務	146,701	147,659
その他	10,527	10,605
固定負債合計	1,233,397	1,107,311
負債合計	2,983,717	3,025,375

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,778,330	1,778,330
資本剰余金	2,072,251	2,072,251
利益剰余金	10,477,168	10,706,320
自己株式	△464	△464
株主資本合計	14,327,285	14,556,437
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,392	4,657
評価・換算差額等合計	3,392	4,657
純資産合計	14,330,678	14,561,094
負債純資産合計	17,314,395	17,586,470

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,300,055	2,381,130
売上原価	1,485,946	1,577,862
売上総利益	814,109	803,267
販売費及び一般管理費	151,740	136,499
営業利益	662,368	666,767
営業外収益		
受取利息	17	19
受取家賃	21,552	22,284
その他	1,998	3,444
営業外収益合計	23,568	25,747
営業外費用		
支払利息	3,254	1,784
貸貸費用	11,915	11,879
その他	44	36
営業外費用合計	15,213	13,700
経常利益	670,724	678,815
特別損失		
減損損失	1,259	145
特別損失合計	1,259	145
税引前四半期純利益	669,464	678,669
法人税、住民税及び事業税	311,823	306,951
法人税等調整額	△53,490	△57,454
法人税等合計	258,332	249,497
四半期純利益	411,131	429,172

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、学習塾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績及び受注実績

当社は、生徒に対して授業を行うことを業務としていますので、生産及び受注実績は、該当事項はありません。

(2) 販売実績

当社は学習塾事業の単一セグメントであるため、開示対象となるセグメントはありませんが、当第1四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりです。

事業部門別	当第1四半期累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日) (千円)	前年同四半期比 (%)
小中学生部門	1,946,563	104.1
高校生部門	434,566	101.1
合計	2,381,130	103.5